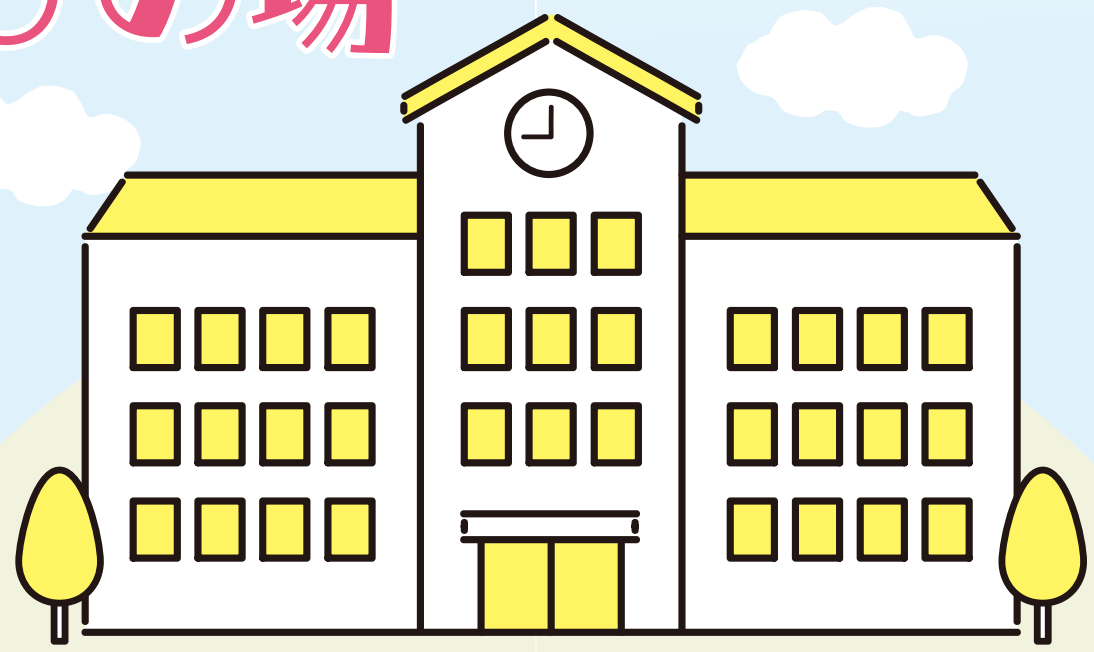


進化しています

# ぎまっ子たちの 学びの場

数年前に比べて市内の学校の様子は見違えるほど変わっています。「学校ってこんな風になったんだ」と感じる、魅力的な学校生活の1日をご紹介します。  
※①～⑪の番号順に、登校から下校までを時系列で掲載しています。



## 5 トイレがきれいに

経年による老朽化や、洋式便器の数が少ないなど、現在の生活様式に合わなくなっていました。

便器を順次洋式化し、内装も改装。児童生徒が気持ちよく使えるようになりました。また、床には掃除しやすい材質を使用することで衛生環境も向上しました。



## 4 授業では1人1台の端末を活用

これまでは、パソコン教室に設置した端末を児童生徒が共用で使っていましたが、児童生徒に1人1台の学習用端末を整備して、次のような学習に活用しています。



先生の質問に対する回答は、多くの場合、指名された児童生徒が回答していました。

全員がアプリ上で意見を入力し、みんなの意見を共有できるようになりました。

調べ学習をするときは、パソコン教室などに移動して行っていました。

自席ですぐに検索できるようになりました。

課題学習のときは、配布されたプリントに答えを記入して先生に提出していました。

課題のデータを学習用端末上で受け取り、データで提出できるようになりました。

アンケートを行うときは、紙や挙手でカウントしていたため、時間がかかっていました。

アンケート機能を使って個別回答し、即時集計できるようになりました。



## 3 オンライン配信を活用

朝会や集会は、体育館や校庭に集まって行っていました。

学習用端末や教室に配置した大型電子黒板にオンライン配信することで、児童生徒は教室で視聴して参加することもできるようになりました。



## 2 令和5年4月から 中学校に新しい 標準服を導入

現在の中学校標準服は、男子は詰襟、女子はセーラー服。長年親しまれてきましたが、寒暖調整が効かない、多様性への配慮に対応できないなどの課題もありました。

令和5年度から、全中学校でブレザー型の標準服を導入。新しい標準服は、紺色の上衣に、グレー基調のチェック柄スラックスまたはスカート。女子もスラックスが選択可能になるなど、全ての生徒が自分に合う着方ができます。また、ネクタイ・リボンの色は各校で決めました。



## 1 学校への欠席連絡などが LINEで便利に

欠席・遅刻・早退する場合、小学校では連絡帳を学校へ提出、中学校では保護者が学校へ電話で連絡していました。

保護者は欠席・遅刻・早退の連絡をLINEを使って行うことで、いつでも連絡可能になり、学校では、欠席状況を一覧で確認できるようになりました。他にも、LINEでお便りを添付して配信することや、アンケートの実施などもできるようになりました。



## 6 お腹も心も満たされる おいしい中学校給食

中学校では、自宅からお弁当を持参し、牛乳のみ提供する「ミルク給食」を実施していました。

中学校全校で学校給食が家庭弁当を自由に選べる選択式の給食を実施。申込者が多い学校では、約半数の生徒が栄養バランスに配慮した給食を利用しています。



人気メニューの「肉盛り! ワイルドランチ」

## 7 学校図書館が身近に

図書の出し入れや管理は、児童生徒が委員会活動の一環として行っていました。

全小・中学校に学校図書館司書を配置。司書による図書館だよりの発行や本の読み聞かせなどにより、児童生徒の読書意欲も高まっています。また、図書の紹介展示も華やかになり、街中の書店のような素敵な図書館になりました。



## 8 All Englishで ネイティブスピーカーと交流

全て英語を使って活動する日「English Day」を全小中学校で実施。英語を母語とする複数の先生が1校に集まり、児童は英語による自己紹介に加え、謎解きゲームなどを行い、英語でコミュニケーションを楽しんでいます。今年度は西中学校で「English Challenge Day」を実施。キャンプ座間から約20人のボランティアを招き、これまでの学習で培った英語で会話しながら、ミッションをクリアしていく活動を行いました。ボランティアとの英会話も弾み、生徒もボランティアも次の機会を楽しみにしています。



## 9 コミュニティ・スクールが 全校でスタート

令和3年度に小・中学校2校で先行実施していたコミュニティ・スクール。今年度からは全小・中学校で実施し、学区の自治会と一緒に避難所設置訓練を行う活動などを通じて、地域の人とのつながりが深まりました。



コミュニティ・スクールとは…学校運営協議会を設置した学校の中で、学校と地域住民などが力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能になる「地域とともにある学校づくり」への転換を図るための有効な仕組みです。

## 10 悩みや困り事は 「スクールカウンセラー」へ



全小・中学校にスクールカウンセラーを配置し、保護者や児童生徒からの相談を受けています。相談室も整備して、相談しやすい環境になりました。

## 11 市立図書館の電子書籍が読めます

移動図書館「ひまわり号」が月1回各校を巡回。児童生徒は図書館の本を借りることができました。



ひまわり号に加え、学習用端末を使って、市立図書館の電子書籍を借りることもできます。興味のある分野の本がいつでも読めて便利です。